

## 平成26年度 第1回 伊勢市地域自立支援協議会 会議要旨

開催日時	平成26年5月1日(木) 14時～
開催場所	伊勢市役所東庁舎4-2会議室
出席委員	浦田宗昭委員、山路克文委員、笹山武志委員、中井眞知子委員、前村裕司委員、 松崎まみ委員、岡部浩美委員、山本とみ委員、齋藤茂委員、丸谷紀子委員
事務局	高齢・障がい福祉課長、係長、係長 伊勢市障害者総合相談支援センターフクシア職員2名
傍聴者	0名

○委員委嘱状交付 副市長より。

○副市長挨拶

法整備は進んできているが、法が変わっても社会が変わるかどうか問題であり、まだまだ現実的には課題や問題が多い。障害者の方が地域で安心して元気に過ごしていけるように、ニーズに応じた対応策の協議や、障害者保健福祉者計画の実施状況についての評価点検等をお願いしたい。社会を変えていかなければいけない、障害者福祉は一朝一夕に目標達成とはいかないが、市も一生懸命がんばっていききたい。

○委員自己紹介 各委員より。

○会長・副会長選出

・「会長」委員の互選により、引き続き浦田氏選出。

会長挨拶：一般の方々からは改善されていないというご意見を頂いている中、これまでの積み重ねを現実化していきたい。

・「副会長」会長の指名により、引き続き山路氏選出。

### 1. 今年度の自立支援協議会について

○各課題別検討チーム委員

各課題別チームをさらに強化していくための委員の変更、および人事異動も含め、了承頂きたい。

・いきいきチーム：企業とのさらなる結び付きを図ったり、様々な就労支援を担って頂いているサービス事業所にも加わって頂きたい。

・せいかつチーム：前年度まで他チーム委員であった委員の所属変更を図りたい。

・しっていますかチーム：精神障害者分野の強化等を図りたい。

⇒上記、本会として了承。会長にて任命していく。

○自立支援協議会 年間計画

各課題別検討チーム：上記任命後、各チーム動き出す予定。

サービス部門会議：各障害福祉サービス事業所の方々に構成されるサービスに特化した部門として、研修の機会やご意見を頂く機会として回数増加も図っていききたい。特にヘルパーの部分に

ついて、しっかりと意見を聞かせて頂いていきたい。

本会： 障害者保健福祉計画の策定等もあり、懇話会との関係や、課題別チームからの意見反映等を図るため、密な会議開催スケジュール予定とさせて頂いている。

懇談会： 昨年度は開催しなかったが、どういう形で市民の皆様にお伝えしていくことが良いのか、またご意見頂きたいと考えている。

⇒大枠として、上記年間計画を本会として了承。

## 2. 平成 25 年度自立支援協議会の活動報告について

課題別検討チームの議論内容をホームページや関係機関窓口に置き、市民の皆様へ自立支援協議会を知って頂くように出来ればと考えている。

⇒・上記、本会として了承。

### **【各委員主な意見】**

- ・内容についての質問にはその都度対応されるのか？

〔事務局〕本会会議録もホームページに掲載しているように、報告的な形になる予定。

## 3. 障害者保健福祉計画について

障害保健福祉計画策定のためのアンケート調査について、コンサルタント業者作成のアンケート案に各課題別検討チーム委員より意見をもらった所であるが、これに対しての大きな部分での意見があれば頂きたい。最終的には、会長・副会長で了承頂き、懇話会で最終決定になる。

⇒下記意見を付して、本会として了承（あとは会長副会長に一任）。

### **【各委員主な意見】**

- ・障害種別ごとの区分けアンケートは時代に逆行するのではないかと？

〔事務局〕集計上事務局的に障害種別を区分けするのみであり、回答者には障害種別ごとのアンケートという表示にはならない予定である。また、難病をお持ちの方は把握が出来ないため今回は作れない。その他、身体・知的および発達障害をお持ちの児童用も予定している。

- ・配布部数および根拠は？

〔事務局〕全体で 3,000 名予定、内一般市民用が 700 名。障害者手帳所持者は 7, 8 千名であり、また一般については、人口規模が大きくても小さくても 300 件あれば傾向出るとの見解であるため。

- ・一般の方用の配布対象者の選定はどのように行うのか？

〔事務局〕20 歳以上の方からの本当に意図ない無作為抽出（障害者手帳所持者やその保護者は除かれる）。

- ・小学校区や年代や男女等にて、結果の分析は可能か？

〔事務局〕単純集計しか無理であり、男女別が出る程度と思われる。

- ・不適切な表現は改めるように（「障害者」でなく「障害のある方」へ）。

- ・一般用アンケートについて、意図が一般の方々への啓発を含むのならば、用語集を付ける等、丁寧な説明が必要である。アンケート調査票がハンドブック的な物くらいが良い。

- ・問 26 について、質問の意図が、障害者施策の効果的な情報提供の仕方の把握ならば、「あなたが障害者施策について情報を得ている身近な方法は何かですか？」の方が良い。あるいは、一般的な情報の入手手段を問うならば、最初の方の質問にすべきである。

#### 4. その他

次回：6月2日（月）18：30～